

令和3年度 箱根町町政モニター第4回アンケート調査結果

1 調査概要

○ 調査テーマ

はこぼうマップについて

○ 調査理由

町では、平成30年2月に横浜国立大学と「包括連携協定」を締結し、連携事業を展開しています。その一環として交通防災情報統合webサイト「はこぼうマップ」を開発し、令和3年9月より実証実験を行っております。そこで、「はこぼうマップ」の仕様等について、皆さまのご意見などを伺い機能の改良に反映するため、アンケートを実施しました。

○ 回答期間

令和3年1月14日（金）から1月27日（木）まで

○ 対象者

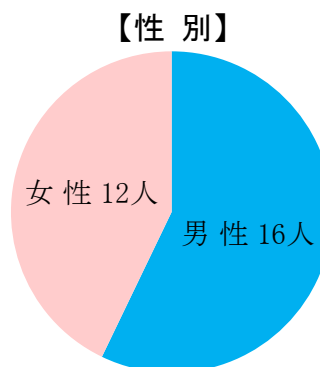
箱根町町政モニター 67人

○ 回答者数(回答率)

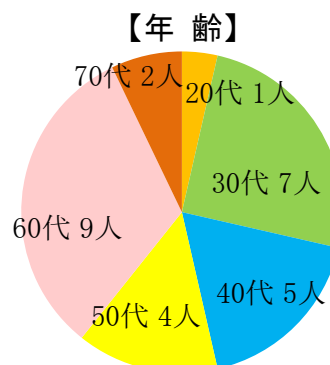
28人(約41.8%)

○ 回答者の基本属性

性別	回答者数	割合
男性	16	57.1%
女性	12	42.9%
合計	28	100.0%



年齢	回答者数	割合
20代	1	3.6%
30代	7	25.0%
40代	5	17.9%
50代	4	14.3%
60代	9	32.1%
70代	2	7.1%
合計	28	100.0%



○公共交通と防災について(質問[1]~[3])

公共交通の利用頻度は、「利用しない」が42.9%で最も多く、次いで「月1日未満」が21.4%、「週1~2日」と「月1日」が各14.3%となり、日常的に利用される方の割合は少ない結果となりました。利用される方の目的は、「通勤・通学・習い事」が43.8%で最も多く、次いで「飲食・娯楽」が31.2%、「日常的な買い物」と「病院・役場・郵便局・銀行」が各12.5%となりました。

平時から防災に関する情報や知識を主に何から得るかは、「箱根町が発信する媒体」が50.0%、「箱根町が発信する以外の媒体」が46.4%と、ほぼ同じ割合となりました。

○はこぼうマップについて(質問[4]~[7])

はこぼうマップは、これまでに箱根町ホームページ、広報はこね、メールマガジン、公式LINEなど町の主な情報発信手法に加え、総合観光案内所(箱根湯本駅前)のモニター展示、小田急線小田原駅構内の名刺サイズカード配架など、幅広く周知を行っていましたが、既に知っていたと回答した方は7.1%であったため、皆さんの目に留まる機会が増えるよう工夫を続けていく必要があります。また、利用頻度は、「非常時であれば利用する」が53.6%となり、はこぼうマップ特有の防災機能に期待されていることが伺えます。

利用したい機能は、「交通機関の運行情報」(21人)が最も多く、次いで「避難所の開設状況」(14人)、「直近の防災行政無線の内容」(12人)となりました。また、他サービスと比較したメリットは、「一元的に交通情報を得られること」(11人)と「開設した避難所の位置と混雑状況が分かること」(11人)が最も多くなり、交通面・防災面のどちらも、はこぼうマップを利用するメリットがあると回答していただいています。

○はこぼうマップの周知と機能について(質問[8], [9])

宿泊施設や観光施設、公共交通機関の駅や停留所など、観光客の方が目につきやすい場所にポスターやQRコードを掲示することで、幅広く周知できるといったご意見が複数ありました。また、「他の地域で大きな地震や災害等があった時には、積極的に告知に協力してもらおう」といった周知に力を入れるタイミングについてもご意見がありましたので、参考とさせていただきます。

交通面は道路規制情報や渋滞情報、防災面は芦ノ湖や早川の水位状況といった情報が把握できると便利といったご意見が複数ありました。道路規制情報サイトへのリンクを貼るなど、一部対応している機能もありますが、提案いただいた機能を追加できるかは、今後、検討していきます。

○総論

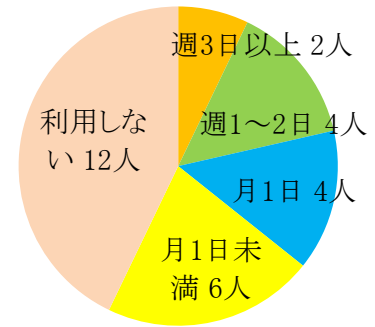
はこぼうマップは、実証実験を通じ、機能の追加や改良を重ねることで、内容の充実や利便性の向上を図ってきました。令和4年度から本格運用を開始しますが、今回のアンケート調査でいただいたご意見を踏まえ、町民や観光客の方々に更にご活用いただけるよう周知・運用を行っていきます。

3

アンケート集計結果

[1] 普段、鉄道やバスなど公共交通はどのくらいの頻度で利用しますか

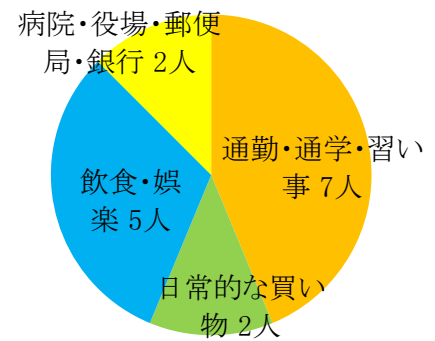
No.	選択項目	回答数	割合
1	週3日以上	2	7.1%
2	週1～2日	4	14.3%
3	月1日	4	14.3%
4	月1日未満	6	21.4%
5	利用しない	12	42.9%
合 計		28	100.0%



質問[2]は質問[1]で「5 利用しない」以外を選択した方に伺います。

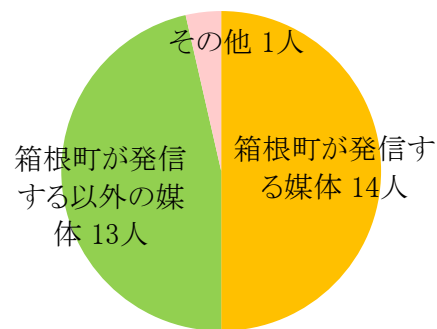
[2] 公共交通の主な利用目的は何ですか。

No.	選択項目	回答数	割合
1	通勤・通学・習い事	7	43.8%
2	日常的な買い物	2	12.5%
3	飲食・娯楽	5	31.2%
4	病院・役場・郵便局・銀行	2	12.5%
5	その他(記述欄あり)	0	0.0%
合 計		16	100.0%



[3] 平時からの備えとして、防災に関する情報や知識を主に何によって得ていますか

No.	選択項目	回答数	割合
1	箱根町が発信する媒体(ホームページ、広報はこね、メールマガジンなど)	14	50.0%
2	箱根町が発信する以外の媒体(インターネット、テレビ、新聞など)	13	46.4%
3	その他(記述欄あり)	1	3.6%
合 計		28	100.0%



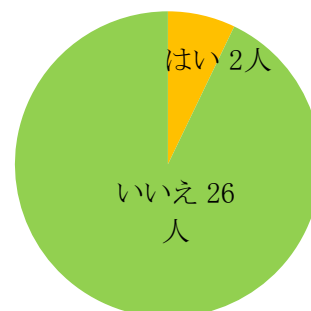
「3 その他」を選択した方の意見

- yahoo

続きまして、はこぼうマップについて伺います。

[4] はこぼうマップを知っていましたか。

No.	選択項目	回答数	割合
1	はい	2	7.1%
2	いいえ	26	92.9%
合 計		28	100.0%

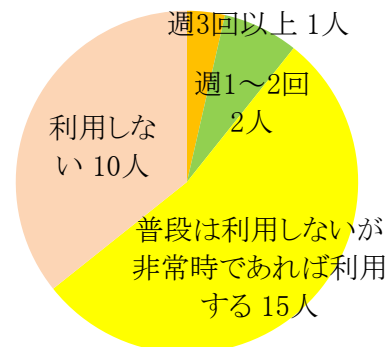


質問[5]は質問[4]で「1 はい」を選択した方に伺います。

[5] 知っていた方は、どのくらいの頻度で利用していますか。

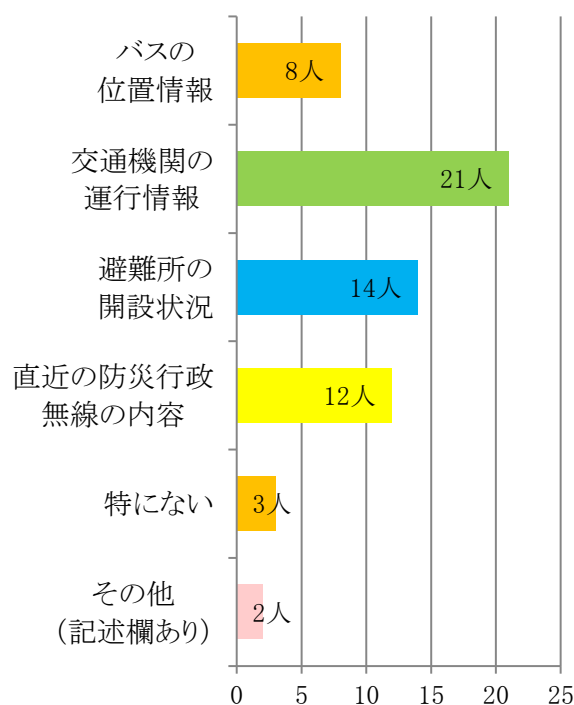
また、今回を機に知った方は、今後、どのくらいの頻度で利用すると思いますか。

No.	選択項目	回答数	割合
1	週3回以上	1	3.6%
2	週1~2回	2	7.1%
3	月1回	0	0.0%
4	普段は利用しないが非常時であれば利用する	15	53.6%
5	利用しない	10	35.7%
合 計		28	100.0%



[6] はこぼろマップにアクセスする際、利用した又は利用したい機能は何ですか。(複数選択可)

No.	選択項目	回答数
1	バスの位置情報	8
2	交通機関の運行情報	21
3	避難所の開設状況	14
4	直近の防災行政無線の内容	12
5	特にない	3
6	その他(記述欄あり)	2
合 計		60

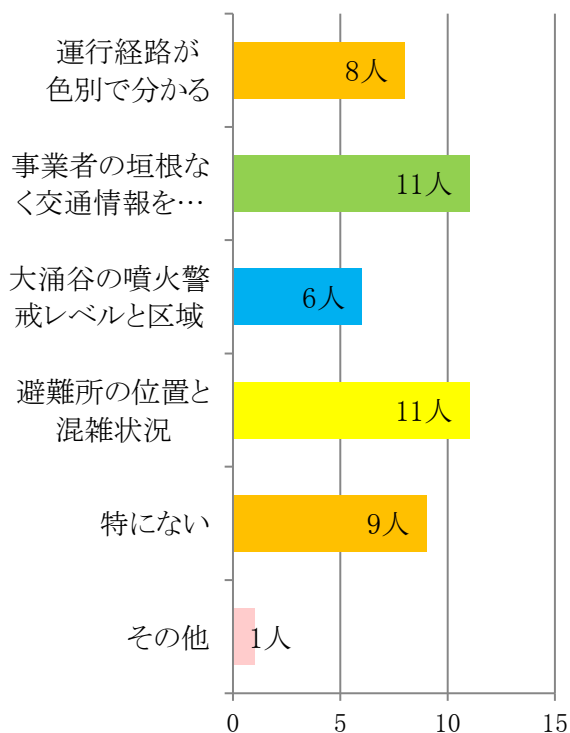


「6 その他」を選択した方の意見

- ・ 道路の渋滞状況、雪の状況、大雨の時の通行できるか情報
- ・ しばらくは、利用方法を覚えるために、頻繁に利用します。

[7] はこぼろマップの機能で、他のマップサービスや交通情報サイトと比較してメリットと感ずることはありますか。(複数選択可)

No.	選択項目	回答数
1	バスの現在地や運行経路が色別で分かりやすく見られること	8
2	事業者の垣根なく一元的に交通情報を得られること	11
3	大涌谷の噴火警戒レベルと区域が視覚的に分かること	6
4	開設した避難所の位置と混雑状況が分かること	11
5	特にない	9
6	その他	1
合 計		46



「6 その他」を選択した方の意見

- ・ はこぼろマップを使ったことがない

- [8] はこぼうマップの周知は、今後、町有施設だけではなく観光施設等でも行う機会を設けられるよう検討していきますが、町民や観光客の方々に幅広く知っていただく方法があれば、お答えください。(自由記述)

区分	一 覧
町内・町外施設を利用した周知	<p>観光客には宿泊施設から周知してもらおう。 その為には宿泊施設スタッフが操作性の良さを実感し、便利だと思ってもらわなければならない。 そうすることで自然とこのサイト見てくださってなる。 箱根全山の交通情報は、大涌谷の混雑状況が分かりやすく、よく利用するし、紹介している。</p> <p>町民へはスーパー、コンビニ、ドラッグストアへの案内の設置（ポスター？）防災グッズ売り場やカップラーメン売り場にポスターなどが効果的では？特に他の地域で大きな地震や災害等があった時には、積極的に告知に協力をしてもらおう（みんな興味が出るから）</p> <p>鉄道の駅、バスの停留所などでの掲示、箱根町が発行している観光マップ、ホテル・旅館、交通事業者各社がお客様に配布している印刷物へのなどが考えられると思います。</p> <p>観光施設の目につくところに置くこと。</p> <p>ロマンスカーの座席シートにある雑誌の1ページ目や目次のところに、はこぼうマップの紹介をする。</p> <p>バス停や駐車場にQRコードを表示する。</p> <p>各バス停にQRコード付き案内の設置。</p> <p>オーソドックスですが、駅やバス停、または宿泊施設・観光施設、またリゾートマンション施設などに、周知させる方向で、地道に推進させていかれては。メインはやはり駅がいいと思います。</p> <p>小田原駅やバスターミナルに、QRコードを表示する。旅館にコードを表示する。町民向けには、バス停にコードを表示する。 全て、スマホ前提で構わないと思います。</p>
サイトでの周知	<p>町内の旅館や観光施設のサイトへのリンクやポスター</p> <p>宿泊施設予約サイトに掲載させてもらおう</p>
紙媒体での周知	<p>町民には回覧板で周知する。</p> <p>観光パンフレットでPRする。</p>
電子媒体での周知	<p>開設いただいた町民向けLINEや、新規に観光客向けLINE、そして、観光客向けアプリの開設。アプリ開発は開発費が結構かかりますし、運営も大変だと思いますが、はこぼうマップの情報発信とともに、箱根の季節情報、ホテルや様々な施設のお得情報、移住物件案内、ポイントシステムなど、構築設計内容によっては将来的にも有益な多くの可能性があると思います。</p> <p>ラジオで宣伝</p> <p>携帯アプリで見れば便利だと思う</p>
感想	<p>存在を知らなかったなので利用してみたいです。</p>

- [9] はこぼうマップは、今年度内に『はこね防災マップ(土砂災害警戒区域・洪水浸水想定区域・所等の情報を記載したハザードマップ)』を表示できる機能等を追加できるよう検討しています。交通・防災情報で、追加や改良した方が良いと思う機能があれば、お答えください(自由記

区 分	一 覧
交通状況 関連	<p>渋滞による迂回おすすめルートが発信。降雪予測を早めに発信して立ち往生するクルマを減らす。大雨による通行止め予測など。ただ、なかなかタイミングによってサイトを見なかったりしますので、道路入口にデジタルサイネージを設置して注意告知が連動できると良いと思いました。</p>
	<p>渋滞情報、雪の積もり具合など。大雨の時の道路状況や通行止など。大雨の時などはいつも実際に行ってみないと通れるかどうか分らず困る。どこを調べても載っていない</p>
	<p>雪による交通制限や冬タイヤの義務路線、除雪車による除雪状況も追加してほしい。</p>
	<p>道路状況（混雑は通行止め）の表示。</p>
	<p>道路の通行止め情報 交通止めになっている道路情報等</p>
防災情報 関連	<p>町を流れている川、芦ノ湖の水位情報。ライブカメラで見れるとなお良</p>
	<p>早川の場合は、川の水位も重要情報だと思います。 観光客向けに積雪や水害等の天候予測を案内、安心して箱根に来るタイミングを提供する機能。</p>
施設等の 営業時間	<p>箱根は交通機関の接続が良く分からないとお越しになったお客様から指摘されています。出発地と目的地を入力すると乗り換え方法や時間などが確認できる機能があると便利だと思います。また、都市部からお越しになるお客様はコンビニの少なさやお店の閉店時間、最終バスが早いことに驚かれます。目的地周辺のコンビニの位置情報やお店の営業時間、最終バスの時間などを積極的に告知する機能が必要だと感じます。</p>
情報発信 について	<p>説明の文字を少なくし情報を際立てさせる</p>
	<p>防災減災への高い意識を継続してもらうためには、定期的な発信が有効だと思います。</p>